

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名: 湖東圏域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通ネットワーク計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通ネットワーク計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
近江タクシー(株) 河瀬東・豊郷線	市立病院～雨降野信号前	系統ごとの目標設定に向け、各路線の主な用途や、運行回数の推移等の状況確認に努めた。本年度は、昨年度と同様に一律的に設定し、全般的な利便性向上と利用促進を図るなかで、乗合率の向上を目指した。	A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている。また、地域住民および沿線病院からの要望で新設停留所を設け、利便性を向上。	A 平成26年度(見込み)で約2,700人と昨年度(約2,100人)より大幅に増加。乗合率は1.27人と昨年度(1.26人)より若干上昇。	目標・達成状況は路線別で上昇・下降がバラバラであり、全体でも乗合率が伸び悩んでいる状況である。 今後は、蓄積されたデータをもとに利用実態分析を行い、路線毎の特徴を整理し、路線別に目標値を設定するとともに、改善方策(停留所の移設、ダイヤの工夫、運行本数の効率化など)を検討したい。 全体としては、乗車に対し何らかのインセンティブを利用者に付与するなどの対策を検討し、自治体等負担額を軽減する方策を検討したい。 また、停留所の新設・移設の基準を設けておらず、停留所数の増加による路線の複雑化、パンフレット印刷直しによるコスト増加等が発生している状況を踏まえ、予約型乗合タクシーの停留所設置要領を検討し、停留所に関する必要事項を定めたい。
近江タクシー(株) 亀山線	市立病院～豊郷駅		A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている。また、沿線病院からの要望で新設停留所を設け、利便性を向上。	A 平成26年度(見込み)で約900人と昨年度(約600人)より大幅に増加。乗合率は1.26人と昨年度(1.21人)より上昇。	
近江タクシー(株) 宮田線	市立病院～摺針		A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている。また、沿線企業からの要望で新設停留所を設け、利便性を向上。	B 平成26年度(見込み)で約1,000人と昨年度と同程度。乗合率は1.17人と昨年度(1.21)より下降。	
近江タクシー(株) 山手線	市立病院～笹尾		A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている。	B 平成26年度(見込み)で約600人と昨年度と同程度。乗合率は1.18人と昨年度(1.23)より下降。	
近江タクシー(株) 小野線(時計回り)	市立病院～高根団地東		A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている。	B 平成26年度(見込み)で約400人と昨年度(約600人)より減少。乗合率は1.16人と昨年度(1.31)より下降。	
近江タクシー(株) 小野線(反時計回り)	市立病院～高根団地東		A	B	
近江タクシー(株) 新海浜線	市立病院～豊郷駅		A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている。また、地域住民からの要望で新設停留所を設け、利便性を向上。	B 平成26年度(見込み)で約2,000人と昨年度(約2,100人)より若干減少。乗合率は1.26人と昨年度と同じ。	
近江タクシー(株) 石寺線	市立病院～雨降野信号前		A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている。また、地域住民からの要望で新設停留所を設け、利便性を向上。	A 平成26年度(見込み)で約2,400人と昨年度(約1,900人)より増加。乗合率は1.31人と昨年度と同じ。	
近江タクシー(株) 日夏線	市立病院～豊郷駅		A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている。また、沿線病院からの要望で新設停留所を設け、利便性を向上。	A 平成26年度(見込み)で約1,100人と昨年度(約1,000人)より若干増加。乗合率は1.23人と昨年度(1.21人)より若干上昇。	
近江タクシー(株) 愛荘西部線	市立病院～湖東記念病院前		A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている。	B 平成26年度(見込み)で約1,900人と昨年度(約2,100人)より若干減少。乗合率は1.22人と昨年度(1.32人)より下降。	
近江タクシー(株) 金剛輪寺線	市立病院～湖東記念病院前		A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている。また、地域住民からの要望で新設停留所を設け、利便性を向上。	A 平成26年度(見込み)で約3,400人と昨年度(約3,000人)より増加。乗合率は1.40人と昨年度(1.37人)より若干上昇。	
近江タクシー(株) 甲良線	市立病院～豊郷駅		A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている。また、沿線病院からの要望で新設停留所を設け、利便性を向上。	B 平成26年度(見込み)で約4,100人と昨年度(約4,100人)と同程度。乗合率も1.39人と昨年度と同じ。	
近江タクシー(株) 河内線	市立病院～落合		A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている。また、沿線病院からの要望で新設停留所を設け、鉄道との接続を考慮しダイヤ改正を実施して利便性を向上。	A 平成26年度(見込み)で約3,000人と昨年度(約1,300人)より大幅に増加。乗合率は1.77人と昨年度(1.42人)より若干上昇。	
近江タクシー(株) 萱原線	市立病院～旧保育園前		A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている。また、沿線病院からの要望で新設停留所を設け、鉄道との接続を考慮しダイヤ改正を実施して利便性を向上。	A 平成26年度(見込み)で約2,200人と昨年度(約1,900人)より増加。乗合率は1.45人と昨年度(1.53人)より下降。	
近江タクシー(株) 大君ヶ畑線	市立病院～大君ヶ畑奥		A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている。	A 平成26年度(見込み)で約3,100人と昨年度(約2,100人)より大幅に増加。乗合率は1.37人と昨年度(1.39人)より下降。	
近江タクシー(株) (15路線)	総括	A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている。路線別に地域住民・沿線企業・沿線施設等の要望を聞きながら、改善を行った。	B 平成26年度は現時点の見込みで約29,000人(平成25年度約24,000人)ものご利用で大幅増加となった。乗合率は昨年度(1.33)より若干上昇して1.36人となったが、平成28年度目標である1.5人を達成するための水準にはまだ届いていない状況である。		

※評価にあたっては、「事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的実施にむけて(ガイダンス)」(平成25年11月)を参照し、実施。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域協働推進事業)

平成 年 月 日

協議会名:湖東圏域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
【認定を受けた地域協働推進事業計画に基づいて実施した事業内容を記載】	A・B・C 評価	【事業の今後の改善点として、取組内容・関係者それぞれが果たすべき役割・連携のあり方等を記載。】 ※年度ごとの定量的な目標を定めている場合等にあつては、各年度の目標達成状況について把握しておくことが望ましい。
【バスダイヤ改善、バス系統再編】 ・路線バスはラッピングバスの導入 ・短距離低減運賃(駅チカ100円区間) ・高校生限定青春フリー定期の実証運行 ・イベント(交通安全フェア、ご当地キャラ博2014)や観光地(紅葉時期の湖東三山)との連携によるダイヤ改正	A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施された。	協議会構成市町およびバス事業者と協議しつつ、乗車密度が低い路線の減便・ダイヤ改正・利用促進を行い、需要が見込める路線の増便を視野に入れたバス系統の再編を検討
【予約型乗合タクシーの運行】 ・鉄道駅との接続を図るためのダイヤ改正 ・地域住民や自治会等からの要望に対応した停留所の新設・移設 ・新規路線として1路線(松原線)の追加	A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施された。	協議会構成市町および運行事業者と協議しつつ、予約型乗合タクシーの効率化を図り、乗合率向上のための具体的施策検討
【紙媒体での情報提供】 ・ダイヤ改正や停留所の新設・移設等に伴い、パンフレットの作成および情報提供	A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている(見込みを含む)。	引き続き、パンフレットの作成および見やすさ向上のためにパンフレット構成の検討
【WEB/携帯での情報提供】 ・湖東圏域を中心とした公共交通のダイヤ検索システムを構築中であり、今後は情報提供を行い、利便性向上を図る予定	A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている(見込みを含む)。	ダイヤ検索システムの運営と使いやすさ向上のために改良および提供する情報の追加
【かしいクルマの使い方を考えるプロジェクト】 ・「湖東圏域公共交通ニューズレター」の発行 ・小学生を対象にしたモビリティマネジメントの実施 ・イベント(交通安全フェア)の連携による啓発活動	B 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている(見込みを含む)。ただし、バス停標柱のデザイン改良・設置等は実施せず、今年度は各バス停留所の現状把握を実施する予定である。	引き続き来年度も事業を実施するとともに、今年度に連携していないイベントでの連携も視野にいれて啓発内容の再考
【観光客の公共交通利用促進】 ・ラッピングバス(ひこにゃん)を活用した利用啓発 ・イベント(ご当地キャラ博等)との連携による啓発	A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施された。	引き続き来年度も事業を実施するとともに、今年度に連携していないイベントでの連携も視野にいれて啓発内容の再考
【商店街との連携】 ・買い物客を対象とした南彦根ベルロード線の利用促進(PRチラシの作成配布等)	A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている(見込みを含む)。	引き続き来年度も事業を実施するとともに、利用促進手法の検討およびチラシ内容の改善
【連携計画のフォローアップ】 ・路線バスの動態調査 ・次年度に向けたバスダイヤ改善およびバス系統再編の検討	A 事業が計画に位置づけられた通り、適切に実施されている(見込みを含む)。	今年度に検討した内容を来年度に実施

※評価にあたっては、「事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的実施にむけて(ガイダンス)」(平成25年11月)を参照し、実施。

事業実施と生活交通ネットワーク計画との関連について

平成 年 月 日

協議会名：	湖東圏域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>【事業実施の目的・必要性】 湖東圏域には多くの公共交通空白地域が存在し、住民の日常生活に不便を強いられている状況である。一方、路線バスについても、毎年多額の赤字額を計上しているなか、交通空白地域においてバス路線で対応することが困難である。そのような中で、比較的低コストで交通空白地域の解消を目的として、セダン型タクシーを活用した予約型乗合タクシー「愛のリタクシー」を導入し、確保・維持することにより、交通空白地域の解消と住民の移動手段の確保を図るものである。</p> <p>【生活交通ネットワーク計画との関連】 地域協働推進事業に含まれる予約型乗合タクシーの運行や紙媒体・WEB/携帯での情報提供が、生活交通ネットワーク計画(地域内フィーダー系統)と密接に関連しており、生活交通ネットワーク計画の目標を協働推進事業の目標の一つとして定めている。そのため、協働推進事業で実施したダイヤ改正や、地域住民や自治体等の要望に対応した停留所の新設・移設、パンフレットによる周知等は生活交通ネットワーク計画の目標達成に寄与している。今後は、予約型乗合タクシーの効率化を図り、目標である乗合率向上の具体的施策を検討する必要がある。</p>